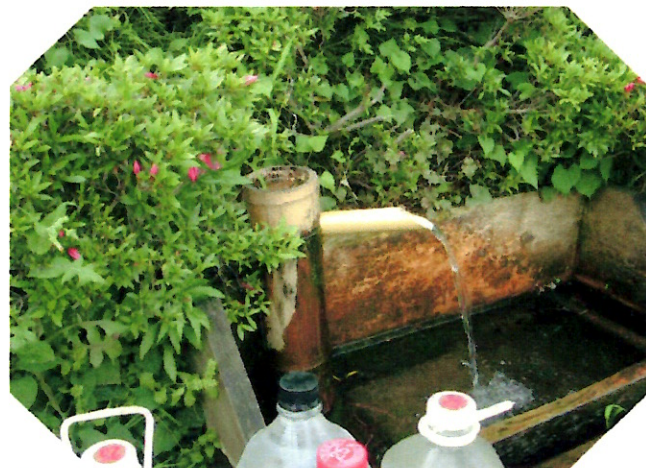


湧き水をうまいといって人は汲み

逆井漫歩33



市役所の環境保全課が確認した市内の湧水は、六十数か所あるが、多量の水が出ているのは十数か所に過ぎない。湿っている程度の所も多い。近くの名戸ヶ谷湧水と増尾湧水は多量組である。雨が地下にしみこんだり、樹木の根付近に蓄えられたりして、時間をかけて地盤の割れ目から再び地表に現れるのが湧水だ。



④名戸ヶ谷湧水⑤親水広場があって、ひと休みできる。生水は飲めません⑥がんセンター隣のこんぶくろ池。静寂な森が武蔵野の面影を残す



市内の湧水のうち、市が管理しているものもあるが、みんな借地である。名戸ヶ谷も、そのひとつで、地権者が亡くなり、水田が作られていたのに、いまは田植えもされず荒れていく。そこに市がビオトープを作る計画をたてており、地元では田んぼを作っている。湧き出る水は小気味よく、汲みに来る人が多い。週末には行列が出来る。増尾城址公園には、四月にバーベキューサイトが出来た。湧水は、すぐ下の森のふもとにあり、埋め込まれたビニール管から流れ出ている。ここにもビオトープを作り、年度内に整備するそうである。

④ちょっと侘びしい感じの増尾湧水。この水を汲んで上にあるバーベキューサイトで茶を点ててみませんか⑥我孫子船戸の湧水。写真が不鮮明で残念。右下にあるポリバケツには「犬用」と書いてあって、散歩のおいぬ様、どうぞ！。亡くなった軍歌好きの川内さんに漫歩に書いてくれと頼まれていました

